浅間嶺

メンバー　石橋、高橋、鈴木（忠）、横山、小保方、河野、鈴木（博）、加藤

２０１７年４月２２日（土）　曇後晴一時雨
ＪＲ武蔵五日市駅９：００（西東京バス）浅間尾根登山口バス停９：５０　登山開始１０：００
風張峠分岐１０：４５　一本杉１１：１５　人里分岐１１：５０　浅間嶺１２：２０～４５
払沢の滝バス停１４：２８（西東京バス）ＪＲ武蔵五日市駅１５：０３
ＪＲ拝島駅前（反省会）１５：３０～１７：００

　ＪＲ武蔵五日市駅に８名集合する。大勢の登山者がバス待ちをしているが問題ない。バスは増発されているのだ。途中ショートカットしたいという小保方、石橋チームは西川橋で下車する。他の６名は予定通り浅間尾根登山口バス停迄行き下車する。前のバスの登山者を含め２０～３０名位の登山者か？バス停より少し戻ってから左の里道に入る。

（浅間尾根登山口バス停）

（里道に入ったところ）

しばらく民家の間を、案内板に従って行く。花桃が色鮮やかに咲いている。

（浅間尾根への案内板）

（花桃が鮮やか）

さほど急でもない登りが続き、みんな無口になる。やがて風張峠分岐に到着。ここで少休止とする。この辺でも桜は満開の時期を過ぎたようだ。

（風張峠への分岐）

（桜も満開の時期は過ぎましたね）

これより先は歩き易い道が続く。ＯＢ山行にはとても良い道だ。

（歩きやすい道です）

（前に回り込んで撮りました）

やがて、サル岩に到着です。

（サルの手形があるというサル岩）

（どこがサルの手ですかね？結局わかりませんでした）

再び、歩きやすい道行く。この道は昔の生活道路（産業道路）だったそうだ。
やがて一本杉に到着（昭文社地図には一本松と書いてある）。ここで小保方より「浅間尾根に到着」というショートメールが入る。

（門柱には一本杉と書いてある）

（カタクリの花に出会いました）

やがて人里分岐に到着。２０～３０分前に小保方、石橋チームがここで浅間尾根にたどり着き、先に行ったものと想像する。

（左の道が人里へ行く）

（本道の浅間尾根道）

これより少し行くと、左側のトラバース道で視界が開ける。対岸の山は大岳から御岳へ続く稜線だ。

（大岳から御岳への稜線が望める）

（左道はＨＰ掲載中の伐採のため通行禁止道か？）

やがて、浅間嶺に到着。残念ながら桜もう満開の時期は過ぎていたようだ。
小保方、石橋達を探すがいない。ここへ小保方から電話が入る。「道に迷ったため引き返す」とのこと。
払沢の滝バス停で集合することにした。
ここで昼食とするが、突然、雨となる。慌てて雨具を付け記念撮影。

（浅間嶺の休憩小屋）

（浅間嶺の頂上）

昼食もそこそこに下山開始。
途中で雨も止み、以降のんびり下る。
春山はいろいろな花が楽しめるし、新緑の山々がまるで花で覆われているようだ。

（民家風お蕎麦屋さん）

（時坂峠近くの新緑の山。花が咲いているようだ）

やがて、払沢の滝バス停付近の喫茶店にいる小保方、石橋チームと合流し、バスにてＪＲ武蔵五日市駅へ行く。ここからＪＲ拝島駅へ向かい、駅前の中華屋さんにて反省会を行い解散した。

なお、小保方、石橋チームは以下のような行動であった。
「西川橋バス停からの里道で間違い、一本松(930.2 ㎡)からほぼ南にのびる尾根上の独標（902m）へ至る登山道（作業道？）に入ったが、登山道がなくなり登ってきた道を引き返すことになった。」